

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年8月13日

【四半期会計期間】 第61期第1四半期(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

【会社名】 株式会社平賀

【英訳名】 HIRAGA CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 平賀治郎

【本店の所在の場所】 東京都練馬区豊玉北三丁目3番10号  
(同所は登記上の本店所在地で、本社業務は「最寄りの連絡場所」で行って  
おりません。)

【電話番号】 -

【事務連絡者氏名】 -

【最寄りの連絡場所】 東京都練馬区豊玉北三丁目2番5号

【電話番号】 03-3991-4541(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 須賀通雄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

## 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第60期 第1四半期累計期間	第61期 第1四半期累計期間	第60期
	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	2,074,170	2,032,190	8,674,354
経常利益又は経常損失( ) (千円)	27,275	22,476	129,592
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (千円)	4,789	30,472	335,345
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	434,319	434,319	434,319
発行済株式総数 (株)	4,015,585	4,015,585	4,015,585
純資産額 (千円)	1,527,334	1,799,059	1,850,848
総資産額 (千円)	4,800,444	4,939,765	4,964,352
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額 ( ) (円)	1.30	8.27	91.04
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)			8.00
自己資本比率 (%)	31.8	36.4	37.3

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社を有していないため、記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善がみられるなど景気の回復基調が続く一方で、中国経済の減速やギリシャの債務問題など海外景気による影響が懸念される状況が続きました。

印刷業界におきましては、受注獲得に向けた企業間の競争による受注単価の下落した状況は続いております。また、原材料である用紙の価格が上昇した状態も続いており、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社はクライアントの販売促進活動に貢献するため、チラシを主軸にあらゆる販売促進物を提供し、機動的なサービスを心掛けて事業活動を行ってまいりました。平成27年4月に組織変更を行い、営業本部については、売上げの拡大と機動的な営業活動の向上、生産本部については、管理体制の強化によるコスト削減を目指してまいりました。

売上高につきましては、当初の予想通りで推移いたしました。売上原価につきましては、原材料の高騰やコスト削減への動きが道半ばとなったことからコスト削減には至らず、売上原価率は前年と比べ上昇することとなりました。

以上の結果から、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は20億32百万円(前年同四半期比2.0%減)、営業損失は30百万円(前年同四半期は17百万円の営業利益)、経常損失は22百万円(前年同四半期は27百万円の経常利益)、四半期純損失は30百万円(前年同四半期は4百万円の四半期純利益)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、28億99百万円(前事業年度末は29億18百万円)となり、18百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ受取手形及び売掛金が82百万円、未収入金が32百万円、仕掛品が17百万円増加したものの、現金及び預金が1億56百万円減少したことによるものであります。

##### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、20億40百万円(前事業年度末は20億45百万円)となり、5百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ投資有価証券が12百万円増加したものの、有形固定資産が12百万円、無形固定資産が4百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、21億84百万円（前事業年度末は21億40百万円）となり、44百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ支払手形及び買掛金が69百万円増加し、短期借入金が33百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、9億55百万円（前事業年度末は9億73百万円）となり、17百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ社債が20百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、17億99百万円（前事業年度末は18億50百万円）となり、51百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べその他有価証券評価差額金が8百万円増加し、利益剰余金が59百万円減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,000,000
計	14,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,015,585	4,015,585	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	4,015,585	4,015,585		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年4月1日～ 平成27年6月30日		4,015,585		434,319		110,000

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 332,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式3,682,800	36,828	
単元未満株式	普通株式 685		
発行済株式総数	4,015,585		
総株主の議決権		36,828	

【自己株式等】

平成27年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社平賀	東京都練馬区豊玉北3-3-10	332,100		332,100	8.27
計		332,100		332,100	8.27

(注) 上記の他単元未満株式46株を保有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、監査法人ハイビスカスによる四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,182,199	1,025,765
受取手形及び売掛金	1,126,604	1,209,253
有価証券	17,959	18,441
商品及び製品	76,927	80,398
仕掛品	98,360	115,896
原材料及び貯蔵品	94,483	84,177
未収入金	226,646	258,794
その他	97,106	108,669
貸倒引当金	1,786	1,739
流動資産合計	2,918,501	2,899,657
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	467,569	460,558
土地	907,360	907,360
その他（純額）	111,660	106,324
有形固定資産合計	1,486,590	1,474,243
<b>無形固定資産</b>		
その他	78,252	74,016
無形固定資産合計	78,252	74,016
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	434,957	447,184
破産更生債権等	301,170	300,150
その他	46,050	44,663
貸倒引当金	301,170	300,150
投資その他の資産合計	481,007	491,847
固定資産合計	2,045,850	2,040,107
資産合計	4,964,352	4,939,765
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,234,797	1,303,904
短期借入金	442,000	409,000
未払法人税等	2,579	3,134
賞与引当金	80,500	26,000
その他	380,376	442,671
流動負債合計	2,140,253	2,184,710
<b>固定負債</b>		
社債	150,000	130,000
退職給付引当金	604,539	605,977
その他	218,710	220,017
固定負債合計	973,249	955,994
負債合計	3,113,503	3,140,705

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	434,319	434,319
資本剰余金	425,177	425,177
利益剰余金	1,598,743	1,538,803
自己株式	259,790	259,790
株主資本合計	2,198,450	2,138,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	195,031	203,183
土地再評価差額金	542,633	542,633
評価・換算差額等合計	347,601	339,450
純資産合計	1,850,848	1,799,059
負債純資産合計	4,964,352	4,939,765

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,074,170	2,032,190
売上原価	1,692,714	1,698,130
売上総利益	381,455	334,060
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	137,669	141,227
賞与引当金繰入額	9,959	9,139
退職給付費用	4,402	3,983
その他	212,395	210,499
販売費及び一般管理費合計	364,426	364,849
営業利益又は営業損失( )	17,029	30,788
営業外収益		
受取利息	623	617
受取配当金	4,626	3,922
受取家賃	1,068	1,059
作業くず売却益	2,923	3,631
その他	5,247	2,296
営業外収益合計	14,490	11,528
営業外費用		
支払利息	4,085	2,644
その他	158	570
営業外費用合計	4,244	3,215
経常利益又は経常損失( )	27,275	22,476
特別利益		
受取補填金	150	3,150
特別利益合計	150	3,150
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	27,425	19,326
法人税、住民税及び事業税	672	856
法人税等調整額	21,964	10,290
法人税等合計	22,636	11,146
四半期純利益又は四半期純損失( )	4,789	30,472

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

偶発債務

東京地方裁判所に対して、平成26年11月7日付にてユーピテル株式会社より、1億円及び遅延損害金の支払いを求める訴訟を提起されました。

当社に対する請求額は、同裁判所より平成25年12月17日に当社の債務不存在確認請求を認める判決が言い渡され、これにより同社が損害を被ったと主張する3億67百万円の一部である1億円及びこれに対する遅延損害金であります。

当社といたしましては、原告の請求は認めることは出来ず、今後、裁判を通じて事実を明らかにしていきたいと考えております。

(四半期損益計算書関係)

- 1 通常の販売目的で保有する棚卸資産の収益性の低下による簿価切下げ額。

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上原価	999千円	614千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
減価償却費	20,474千円	18,913千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	29,467	8	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	29,467	8	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは単一であり、報告セグメントの記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )	1円30銭	8円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	4,789	30,472
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( ) (千円)	4,789	30,472
普通株式の期中平均株式数(株)	3,683,492	3,683,439

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年8月10日

株式会社 平賀  
取締役会 御中

監査法人 ハイビスカス

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 克幸 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 駒田 裕次郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社平賀の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第61期事業年度の第1四半期会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社平賀の平成27年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

「注記事項（四半期貸借対照表関係）偶発債務」に記載されているとおり、会社は、ユーピテル株式会社より、1億円及び遅延損害金の支払いを求める訴訟を提起されている。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。